

神奈川県議会議員選挙選挙公報

神奈川県選挙管理委員会

守ります!地域社会

- 市町村と連携しながら災害に強い街づくりをすすめ、ハード・ソフト両面から減災対策強化に取り組みます
- 防犯カメラの設置促進を図り、犯罪のない安全で安心な街づくりに取り組みます
- 生活道路や通学路における横断歩道等の道路標示・交通標識に対する予算確保と整備を着実に進めます

守ります!地域経済

- 地域のコミュニティである商店街の活性化と魅力向上に努めます
- 中小企業・小規模企業・商店を営む方々の事業拡大支援、事業継承の支援を進めます
- 都市農業を振興し、地産地消を推進し食の安心を確保します

守ります!子ども達の未来と命

- 「子どもを守る」を原点に、児童虐待の未然防止・総合的対策を進め、相談・通報・保護・シェルター等の体制整備と対応能力向上に取り組み児童虐待0を目指します
- 子どもの貧困対策を推進し、負の連鎖を断ち切るためにひとり親家庭支援(教育支援・生活支援・就労支援)を社会全体で支える機運を高めます

守ります!医療福祉

- 地域医療提供体制の充実を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して医療の提供を受けられる仕組みを作ります
- 介護予防に向け、医科歯科連携によるオーラルフレイルの啓発活動を広め、歯と口腔の健康作りの推進に努めます

プロフィール

昭和44年7月12日生まれ(49歳)
参議院議員斎藤文夫秘書、横浜市議員佐藤茂秘書、
田中忠昭事務局長を経て平成23年初当選
日本ブルガリア協会理事
国際交流保土ヶ谷の会(通称ソフィアの会)理事

<http://takahashi.eco.to/>

安全・安心、住みよい街づくりに全力投球!



自民党公認

たかはし えい ちろう 栄一郎

立憲民主党

女性だからできる
現場からの提案。

子どもや家族、地域がやさしさを
実感できる社会に!

1 女性が働きやすく、子育てしやすいまち

乳幼児から児童、青年期までの多様な子育て環境や介護がしやすい環境を整えることが女性の社会参加を加速し、活躍できる社会づくりには欠かせません。私は、女性が働きやすく、子育てしやすいまちをモットーに政策を立案し、実行していきます。

2 福祉に強いまち

福祉は人の生命や生きる力を守るセーフティネットです。とりわけ、子ども・高齢者・障がい者、悩み、痛み、辛さを抱えている人々にやさしいまちを実現したい。まずは、虐待・いじめ・差別の根絶に力を尽くしていきます。

3 安心して暮らせるまち

真の豊かさとは、人と人のぬくもりや絆を確かめ合うことのできる社会を生きることではないでしょうか。いきいきと地域のことを語る機会を増やし、よりよい保土ヶ谷にする活動をこれからも実践していきます。

私は今までも、これからも大きな声に流されず
小さな声に耳を傾ける政治をめざして
がんばってまいります。

プロフィール

- 1969年11月20日生まれ(夫 長女 長男)
- 神奈川県立松陽高等学校卒業
- 東洋英和女学院短期大学 保育科卒業
- ◆2005年～親子のつどいの広場ざんがむらを開設して、地域の親と子の集える場・保育を提供
- ◆2005年～子育て、親子の情報交換ができるコミュニティカフェを保土ヶ谷、小田原でオープン
- ◆介護現場では、2005年～デイサービス食事部門、2015年～介護老人保健施設の託児室を業務委託
- ◆2017年～まさしく保育の現場、ざんがむら保育園を自ら開園
- 岩崎中学校PTA副会長(H25～26年度)
- 保土ヶ谷区PTA連絡協議会副会長(H25年度)

私も応援しています! 衆議院議員 あおやざ 陽一郎



立憲民主党
公認

もちづき せいこ 聖子

福祉・くらし・子育て 最優先の県政へ

私は自治会活動や世話役活動を通じて、お隣同士、気軽に相談をしあえる地域社会でこそ、子どもたちが健やかに育っていくことができると実感しています。

県議会こそ最も民主的な運営が保障され、県民の代表として自由闊達な議論がおこなわれることによって、県民の総意を結集できるのではないのでしょうか。

緑をまもり急傾斜地、がけ崩れ対策など命とくらしを守るため力を尽くします。

- あなたの声で県議会を動かす
- 高い国保料の引き下げ、均等割なくす
 - 県営住宅の老朽化対策を強化し、計画的な建て替えと増設を促進
 - 障がい者が安心して暮らせるよう「障害者権利条例」の制定をすすめる
 - 小・中学校全学年で少人数学級実現と正規の教員を増やす
 - 特別養護老人ホームの増設、介護職員の処遇改善
 - 中小企業予算増額、最低賃金は時給1500円に
 - 農林漁業を県の重要産業にふさわしい位置づけで後継者育成に取り組む

1943年、新潟県村松町(現五泉市)生まれ。現在、上菅田町在住。神奈川県立平沼高校通信制卒。神奈川県金属機械労組委員長。1965年日本共産党入党、74年から党の勤務員。党鶴見地区委員長、党県青年学生部長、山崎台自治会会長など歴任。家族、妻かつ子(元県会議員)

小沢むつお 検索

安倍政治ストップ
消費税10%への増税中止を
憲法9条「改憲」ノー



小沢むつお

おざわ 睦夫

日本共産党